

当院において子宮体癌に対して

根治的放射線療法を施行された方及びご家族の方へ

子宮体癌は手術が第一選択です。放射線治療症例は合併症等で手術不能である場合や切除不能な進行癌に限られ、非常に少ないです。わが国における子宮体癌は近年増加傾向にあります。根治的放射線治療患者数は増加していません。このため、標準的な治療法は確立されておらず、各施設の方針で治療が行われています。そこで福山医療センターが主体となり、QST病院を含む多施設で、過去の症例を解析することになりました。

この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、次頁の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをご存知になりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 子宮体癌に対する根治的放射線治療の多機関共同研究調査と最適な線量評価法の検討

[実施期間] 施設長許可取得後 ～ 2027年12月31日

[研究代表機関] 独立行政法人国立病院機構福山医療センター

[研究代表者] 兼安 祐子（独立行政法人国立病院機構福山医療センター放射線治療科）

[共同研究機関] 研究責任者 研究機関]

量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 QST病院 村田 和俊（部門長 須原 哲也）

（その他の共同研究機関名は末尾に記載）

[研究の目的] 日本における子宮体癌に対する根治的放射線治療の実態を調査し、問題点を検討します。

[研究の方法・データの利用方法]

●対象となる方々

2008年～2017年の間に子宮体癌FIGO病期期一～IVA期に対して根治的放射線療法を実施し2年以上経過観察を行った、治療開始時20歳以上の患者さんを対象とします。

●利用する情報及び利用方法

患者背景 治療内容、治療結果。新たな質問や検査はありません。

データは個人情報を匿名化した上で、QST病院の研究責任者から電子メールで研究代表者へ送り集計します。

[個人情報の取り扱い]

外部と共有される研究データからは、お名前、ご住所、その他の個人を識別できる情報は削除します。また、研究成果は、解析した全体の数字として学会や学術雑誌で発表されますが、その際に個人名などが表に出ることはありません。個人情報保護法及び研究機関の個人情報保護に関する規則等に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2023年10月31日までに下記窓口にお申し出くださるようお願い致します。ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門

QST病院 村田 和俊 電話：043-206-3306（平日9：00～17:00）



その他の共同研究機関 研究責任者

新潟県立がんセンター放射線科 金本彩恵	千葉大学医学部附属病院放射線科 宇野隆
自治医科大学付属病院放射線科 小川一成	国立がん研究センター放射線治療科 長尾彩加
群馬大学医学部附属病院放射線科 大野達也	順天堂大学放射線科 村上直也
群馬県立がんセンター放射線科 安藤謙	神奈川県立がんセンター放射線治療科 土田圭祐
筑波大学附属病院放射線腫瘍科 櫻井英幸	伊勢赤十字病院放射線治療科 伊井憲子
東京都立駒込病院放射線診療科（治療部） 室伏景子	大阪大学放射線治療科 磯橋文明
埼玉医科大学国際医療センター放射線腫瘍科 加藤真吾	琉球大学放射線科 有賀拓郎
埼玉県立がんセンター放射線治療科 牛島弘毅	